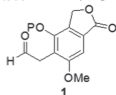


# 23PO-am008

血栓溶解・抗酸化作用を有する微生物産生生理活性化合物の合成研究

○杉山 奈都子<sup>1</sup>, 永田 和弘<sup>1</sup>, 富澤 祐一郎<sup>1</sup>, 金光 卓也<sup>1</sup>, 宮崎 倫子<sup>1</sup>, 伊藤 喬<sup>1</sup> (昭和大薬)

【目的】微生物が産生する isoindolinone あるいは isobenzofuranone 骨格を有する化合物には、抗血栓、抗腫瘍、神経保護作用等、様々な生理活性を示すものが多く存在する。筆者らは、これら生理活性化合物の合成中間体として共通の化合物 **1** を考え、今回 **1** の合成と、続いて抗血栓作用をもつ SMTP 類および、その立体異性体の合成を目的に検討を行った。



【方法・結果】市販の化合物 **2** を出発物質として 6 工程、通算収率 61% で isobenzofuranone 骨格を有する化合物 **3** へと変換した。次いで、アリル基のジオール化に続く酸化によりアルデヒド体へと変換することにより中間体 **1** を合成した。現在、中間体 **1** から SMTP-7 及びその立体異性体の合成を検討中である。

